

ベイサイドブルー 連節バス「BAYSIDE BLUE」運行開始

1 公営交通事業者として初の導入

横浜市交通局は令和2年7月23日（木・祝）から、横浜ベイエリアの新たな交通の軸として、連節バス「BAYSIDE BLUE」の運行を開始しました。

連節バスを導入するのは、公営交通事業者として初めてのことであり、車両は国産第1号車となる「日野ブルーリボン・ハイブリッド連節バス」です。その主要諸元は第1表のとおりですが、横浜の空と海をイメージした「マットメタリックブルー」の鮮やかな車体となっています。

BAYSIDE BLUE 車両外観



2 都心臨海部の賑わいづくりに寄与

次ページの運行ルート図をご覧ください。一日乗車券「みなとぶらりチケット」で市営地下鉄・バスに自由に乗降できるエリア図になります。「BAYSIDE BLUE」は左上段の「横浜駅前（東口バスターミナル）」から、右手中段の「山下ふ頭」までを結びます。当市の都心臨海部では横浜市駅東口、みなとみらいをはじめとする開発、あるいは MICE 機能の強化、先月に当局も移転しました新市庁舎など、様々な開発が進んでいる中、その間の水際線沿いの主要な施設を結ぶ運行ルートとなり、賑わいづくりに大きく寄与する、新たな交通として、市民、就業者及び観光客などを呼び込むことが期待されています。

同エリアでは「BAYSIDE BLUE」の運行開始に伴い、「あかいくつ」などの観光路線を再編し、神奈川県初の FC バスを導入している「ピアライン」と合わせ、回遊・利便性向上に取り組み、まちの賑わい創出に寄与するバスネットワークを構築しています。運賃は均一運賃となっており、大人 220 円、小児 110 円で、各種一日乗車券も利用が可能です。

全長約 18 メートルの長大車両の運転を行うにあたり、ロータリーでの転

回や、交差点通過の際に高度な運転技術が必要な箇所があり、運行開始までの間、連節バス乗務員として選抜された22名の乗務員が、十分な習熟訓練を重ねてきました。

横浜にお越しの際は、ぜひ一日乗車券「みなとぶらりチケット」で「BAYSIDE BLUE」などの市営交通にご乗車いただき、観光をお楽しみ下さい。

運行ルート図



第1表 主要諸元

全長	17.99メートル
全幅	2.495メートル
全高	3.26メートル
乗車定員	113名
最大出力	360PS
最大トルク	160kgf・m
最小回転半径	9.7メートル
直角旋回占有幅	7.0メートル
タイヤ切角（外角/内角）	34.5° / 43°

<問い合わせ>

横浜市交通局自動車本部路線計画課
TEL045-671-3194